

心臓リハビリテーションNEWS

心肺運動負荷試験（CPX）についての院内学習会

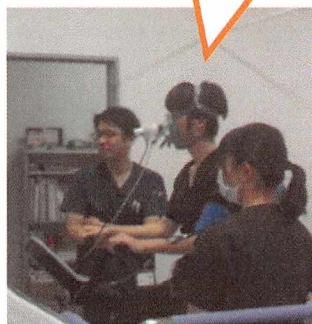
心肺運動負荷試験（以下CPX）に携わる医師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士で院内学習会を行いました。今回は院外研修会に参加した臨床検査技師の伊東さんと理学療法士の櫻田さんからCPX実施に対してのチェックポイントや結果解析での診るポイントを学び、その後は当院の水尻医師が実際にCPXを体験し学習をしました。

水尻医師からは、実際に自分で体験する事によりCPXの理解が深まり、同時に解析のポイントも学べたので大変良かったとのことでした。

心臓リハビリテーション運営会議では今後も引き続き、医師も含め多職種で学習する機会を積極的に開催し、多職種が共通の理解で診療を進められるように計画していきたいと思えます。



最大 195W まで到達
した水尻医師



日本心臓リハビリテーション学会第4回東北支部地方会

2019年12月8日に日本心臓リハビリテーション学会第4回東北支部地方会にて作業療法士の盛昭人さんが口述発表を行って来ました。当院では作業療法士の得意分野としている、ADL（着替え・食事・トイレ・入浴など）やIADL（買い物・食事の準備・洗濯・家事・財産管理など）、職業訓練、精神心理、QOL評価などを心臓リハビリテーションの中で患者様へ提供することでより質の高い医療を提供できるように取り組んでいます。今回は、不安定狭心症により低心機能に陥っている症例に対し、運送業の復職に向け、作業療法士の視点から安全に出来る職業動作を評価・指導し、同時に職場責任者と相談しながら業務調整を行って復職された症例の演題発表を行って来ました。

今回の学会でも作業療法士の心臓リハビリテーション介入への演題は3題しかなく、東北全体を見通しても作業療法士が心臓リハビリテーションに介入している施設は少ないのが現状です。当院が理学療法士とともに作業療法士も参加し、質の高い心臓リハビリテーションを展開していることをアピールする良い機会になりました。

